

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	マルク		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和6年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日		～ 令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎月面談を実施していることで、ご家庭で何かあった時に知ることができる。	月1回～面談日時を設定。ご家庭での様子を共有してもらい、支援や家庭での関わりをお伝えしている。	講座、座談会の機会を増やしていく。
2	専門的なアドバイスができること。	脳の階層構造に基づいた支援をし、連絡帳や面談でその都度情報共有しながら対応している。	本部からの指導の機会を増やしていきスタッフの技術向上を図る。
3	学習をやって、できたことを共有できること。	内部研修をしていながら、日々の療育の中でもスタッフのスキルの向上を目指している。色々なスタッフが面談に入る等。	ご家庭での課題を提供する機会を増やし親子でもできたという経験を増やしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	以前より講座の機会が減っている。	全国での講座アーカイブ配信などもあるが教室での機会が減っていた。	他教室の講座をオンラインで繋ぐなどして増やしていく。講座だけではなく座談会をする。
2	保護者の方に支援を見てもらう機会が少ない。	親子での行事の機会が少ない。	親御さんに参加してもらえようような行事を増やしていき、親子とスタッフで取り組める企画をしていく。
3	バリアフリーの視点をもつ	色々な面での安全点の見直しをしていく。	定期的に老朽化がないかなど安全を確認するようにする。